

受講
無料

TFU
Tohoku Fukushi University

実学臨床研究

セミナー

40回

※ 本学大学院総合福祉学研究科社会福祉学専攻の授業科目としても開講されています

- 開催日時 2024年 12月 19日 (木) 18:30 - 20:00
- 受講方法 Zoomオンライン開催 ※ Zoom情報は開催2日前より送付します
- 申込方法 Web専用サイト(Peatix)より登録 <https://tfu-jitsugaku-seminar24.peatix.com/view>

12月19日(木)12時までにお申込み下さい



福祉専門職における感情労働への対応

■ テーマ趣旨

まず、「感情」の一般的意味と心理学でいうところの「感情」の違いと共通性について理解していただき、どうして「感情」は起こるのかについての説明を行う。基本的な事を踏まえたうえで、「感情労働」とは何なのかについて掘り下げていくことにする。そこでは「感情疲労」をはじめ、さまざまな問題が生じているのである。特に福祉業務に携わる人たちにとって、「感情労働」における「共感疲労」は大きなメンタルの問題を引き起こすことになる。その最たるものが、「バーンアウトシンドローム」と「うつ病」である。ここでは時間の関係もあり、「バーンアウトシンドローム」のみを取り上げ、チェックリストを行っていただきながら、個の問題の意味と対応について検討を行うことにする。

■ キーワード

感情労働 共感疲労

バーンアウトシンドローム(燃え尽き症候群)

■ 講師紹介

渡部 純夫 (わたなべ・すみお)

東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科 教授
東北福祉大学 学生支援センター長
東北心理学会理事長

■ 福祉実践・実践研究への手ごかり

福祉実践の中で問われてくるのは、お互いに主体性を持った人間と人間の営みということであろうか。お互いの生き方を尊重しながら、それを強いることなく、ともにいるということをしつかりと認識しておくことであろう。本質的に人間になるということには思ったほど簡単なことではない。いるだけでは不十分なのである。自分の事を、相手の事を常に問い続けながら、人間とは何ぞやの答えを探っていかなければならないのである。そこに実践の意味が見えてくるものと考えている。

■ 企画 TFU実学臨床研究セミナー実行委員会

次回(41回)のお知らせ

日時 1月24日(金) 18:30-20:00



【お問い合わせ】

TFU実学臨床研究セミナー実行委員会 事務局
(実習支援センター 実学臨床教育推進室内)
TEL 022-717-3359 FAX 022-301-1293
E-mail kenkyu-seminar@tfu.ac.jp
※平日8:30~17:30までお願いします(土日・祝日不在)